

議題第 1 号

和光市史の編さんについて

1 市史編さんの目的

昭和 63 年 3 月に和光市史全 6 巻を刊行して 30 年が経過し、市内の自然環境、景観、人々の生活様式も大きく変化してきました。令和 2 年 10 月に市制施行 50 周年を迎えることを契機に、和光市史刊行後に発見された資料や、これまで蓄積してきた調査・研究成果を踏まえ、和光市史の続編を編さんし、和光の自然や歴史、文化財、伝統文化等を見直し、市民共有の財産とすることを目的とします。

2 市史編さん対象期間及び刊行物の名称

前回の編さん事業対象期間（昭和 60 年まで）をすべて包含し、それ以降の平成時代を中心に令和 2 年度末までとします。

新しい市史の中心となるのは平成時代であることから、市史の名称は『和光市史平成版』とします。

3 市史編さんの基本方針

今回の和光市史編さんは次の 3 点を柱として進めます。

(1) 地域資料を市民共有の財産に

前回の編さん事業終了以降、地域にとって貴重な資料の散逸を防ぐため、古文書や民俗資料など大量の地域史資料を蓄積してきました。また、土地開発の増加とともに遺跡の発掘調査も増え、考古資料も数多く蓄積されています。今回の編さん事業では、前回の編さん事業後に新発見・新知見となった事象については積極的に編さん対象とし、蓄積されてきた地域史資料を整理し、その保存と継承に向けた位置付けを検討し、市民共有の財産とします。

(2) 多角的で広範な視野からの地域史

前回の編さん事業対象期間後の現代部分を充実させ、首都近郊住宅都市として和光市が発展してきた過程を視野に入れた歴史叙述を目指します。さらに、政治史・行政史からの視点だけではなく、地域における生活史・社会史的な視点や、地域の人々の営みと自然環境、災害との向き合い方、新旧住民の均質化など、地域を核として、多角的かつ広い視野で地域史を叙述します。

(3) 地域に眠る記憶を記録に

これまで蓄積されてきた地域史資料だけではなく、今も失われつつある地域の記憶

を記録に留めるとともに、市内に埋もれている未発見の資料を掘り起こし、その記録化と将来に向けて保存します。

4 刊行物の体裁・頒布方法等

- (1) 『和光市史平成版』の体裁については、A4判3段組オールカラーとし、中性紙を用いるなど資料集としての刊行意義を尊重するように努めます。
- (2) 『和光市史平成版』の発行部数は1,200部とし、頒布価格等については、刊行にかかる経費等を勘案し、また、市民が購入しやすい価格設定を考慮して別に定めるものとします。

5 成果物

(1) 成果物1 「和光市史平成版」(書籍)

- ア 巻数 全1巻
- イ 書籍体裁等 A4判 本文400ページ程度
- ウ 書籍内容 委託事業者の和光市史企画提案に基づき調整します
- エ 部数 1,200部
- オ 概要リーフレット：A3両面印刷二つ折り（4ページ）2,000部

(2) 成果物2 「和光市史平成版の電子書籍データ」

- ア 内容及び体裁
「和光市史平成版」の書籍をEPUB等の形式で電子書籍データを作成し、CD-ROM等で納品とします

- イ 数量 1点

(3) 既刊の「和光市史（全6巻）」及び「図説和光市の歴史」を電子データに変換する

- ア 内容及び体裁
既刊「和光市史（全6巻）」及び「図説和光市の歴史」を文字の検索及び拡大等ができるPDF化し、CD-ROM等で納品とします

- イ 数量 1点